

学外研修報告

－丸のこ等取扱作業従事者安全衛生教育－

フィールド科学系部門 生物科学班 内田慎治

1.はじめに（目的等）

業務中の使用頻度は高くないが、携帯用丸のこ盤を用いて木材の切断を行うことがある。携帯用丸のこ盤については、その携帯性と使用しやすさから、建設業をはじめ、様々な業種において広く使用されているが、多くの労働災害が起きている。このため、携帯用丸のこ盤を用いる作業に対し、より安全で適切な作業を行うため、今回の安全衛生教育を受講した。

2.期間・場所

期間：平成 30 年 2 月 20 日

場所：コベルコ教習所広島教習センター（広島県広島市安佐南区大塚西 1-5-36）

3.参加者等

約 15 名

4.研修内容

- ・携帯用丸のこ盤に関する知識
- ・携帯用丸のこ盤を使用する作業に関する知識
- ・安全な作業方法に関する知識

- ・携帯用丸のこ盤の点検及び整備に関する知識
- ・関係法令
- ・実技（携帯用丸のこ盤の正しい取扱い方法）

5.まとめと感想

はじめにでも述べたように、携帯用丸のこ盤は、携帯性と使用しやすさから、建設業をはじめ、様々な業種において広く使用されているが、多くの労働災害が起きている。軽微な災害に留まらず、死亡災害に至るものもある。また、これらの災害の発生状況の詳細について見ると、安全カバーを固定することにより「無効化」した上で作業をしている等、携帯用丸のこ盤の危険性を十分に認識せず、かつ、誤った使用方法で作業を行っていたことによるものがほとんどを占めている状況であった。使用者の安全を守るためにも、常日頃からの適正な整備や管理、試運転を行う事が最も重要であると感じた。安今回の研修では、全カバーを固定するなど、誤った使用方法で作業を行う危険性を知ることができて良かった。今後、自分なりに注意点を整理しながら必要な技術等を確実に身につけていきたい。